

2024年(令和6年)
6月17日 月曜日

福島民友

旧暦5月12日 仏滅 七赤

発行所 福島民友新聞社 〒960-8648 福島市柳町4-29 代表電話 024-523-1191 www.minyu-net.com

日本リユースシステム
営業本部長

辻本 真子さん



つじもと・まこ 1988年京都府生まれ。2021年11月から国内でリサイクルを展開する「日本リユースシステム」で営業本部長として事業を統括。

古着回収ワクチン支援

古着を有料の袋に詰めて回収し、途上国にポリオ(小児まひ)ワクチンを届ける「古着dワクチン」事業を20

10年から進めている。海外でリユース業を展開する中で、ワクチンがないばかりに多くの子どもが命を落とす現状を目の当たりにしたのがきっかけだ。

サービス利用者は、30円まで入る専用の回収袋を1袋3300円で購入し、古着を詰めて送る。1袋売れるごとに5人分のポリオワクチンをミャンマー、ラオス、ブータン、

バヌアツに寄付している。これまで累計約650万人分を超えるワクチンを提供した。

古着は、売ること家庭ごみとして捨てることもできるため、始めた当初は、回収袋を有料で買うことに抵抗を示す人が多かった。だが、環境保護や社会貢献に対する関心の高まりを背景に、現在は毎月約2万5千袋の利用がある。

回収袋の利用者はお金を払って衣類を手放すため、袋の中に汚れた衣類が入っている

ことは驚くほど少ない。誰かに大切に使用してほしいという思いが強く感じられる。

回収した古着はカンボジアの直営店に送り、衣類を種類ごとに細かく選別する。直営店のスタッフの多くは、ポリオの後遺症で手足が不自由になった現地の人たちだ。1着5円で販売するほか、先進国も含め世界の30カ国に再輸出して有効活用している。

衣類を手放す際、ワクチン支援で国際貢献できるという選択肢を多くの人が知っている。